

金剛ニュータウン再生指針の策定

住民とともに作る金剛ニュータウンの再生指針

開発から約40年が経過し、人口減少、少子高齢化が進行する金剛ニュータウンにおける再生指針の策定支援業務である。

2012年より、市庁内および学識経験者等で検討を重ねてきた『「(仮称)金剛地区再生指針」策定に向けた素案』をもとに、住民による「金剛地区活性化に向けた意見交換会」、住宅や鉄道、商業等の事業者や学識経験者、地域団体による「金剛地区再生指針策定協議会」で議論を重ねて、再生指針をとりまとめた。

検討過程においては、行政や住民、地域の事業者等がともに活性化に向けて取り組んでいくために、まちの魅力と課題、まちの将来像を共有した上で、取り組み等を検討するとともに、協働の取り組み体制づくりへの道すじを立てた。

所在地	富田林市
発注者	富田林市
敷地面積	約216ha
工期	平成27年度～平成28年度